



ラグビーの審判

Hさん 中学校・事務職員・経験年数4年

現在は鹿児島県内の高校生や中学生の試合で審判をすることが多いです。また、九州内の大学生や社会人のリーグ、高校生の九州大会等を担当することもあります。以前は高校生や大学生の全国大会等を担当する機会もありました。

その取り組みはどのくらいの頻度で実施していますか。また、どのくらいの期間継続していますか。

高校生の大会は日程がある程度決まっていて、月に3～5回ほど担当する場合があります。大学生、社会人についてはシーズンが決まっていて、月に1～2回ほど担当することがあります。本格的に始めてから10年ほど経ちました。

その取り組みをはじめたきっかけを教えてください。

高校から部活動でラグビーを始めました。大学でも継続して頑張りたい気持ちがあり、ラグビー部へ入部しました。しかし、私は体が大きくないため、大学ではラグビーを続けるのは難しいのかもしれないと悩んでいた頃に、ラグビー部の先輩や担当の先生から審判ならできるので

はないだろうかとのお話をいただき始めました。

その取り組みにまつわるエピソードをできるだけ詳しく教えてください。

楽しかったこと、嬉しかったことは、2023年に行われた鹿児島国体に積極的に関わることができたことです。審判を始めたころから目標にして活動をすることができ、良い舞台に立つことができたのはとても良い思い出です。他にも九州や全国に知り合いが増えて、知り合いの活躍をみることも良い点だと思います。

辛かったこととして挙げられるのは、より高いレベルの試合になると、ただ試合を担当するだけではなく試合前にチームの映像を見て研究したり、試合後に自分が担当した試合を見直して振り返りを行ったりしなければならぬので、

その時間を確保することで自分の時間がなくなってしまふことだと思います。

あなたにとって、その取り組みはどんな時間ですか？ また、その時間があなたの人生に変化やプラスになったことがあったら教えてください。

私にとって、ラグビーの審判をする時間とは仕事以外でたくさんの人と関わりをもつことができる時間だと思います。

鹿児島県内だけではなく、九州各県や全国にも知り合いが増えました。おそらく審判をしていなかったらそういった出会いもなかったと思います。

仕事との両立で心掛けていることはありますか？ 特に仕事以外の時間をどのように作っていますか。また、その時間を作るコツや工夫していることを教えてください。

これから教職員になる方に向けてメッセージをお願いします。

私は、初任者として1年目のころに、当時の管理職の方から「仕事以外の軸も大切にできるようにした方が良い」というようなことを言っていました。当時は嬉しい反面、仕事とのバランスをうまく取れるのかと不安な面もありました。しかし、現状を振り返ってみると、仕事以外の軸（私の場合はラグビーの審判）を行うことで、仕事だけではなく他の自身の生活に多分に良い影響を与えてくれたなと感じています。皆さんもぜひ、「仕事以外の軸」も大切にしていいただければと思います。

仲間の先生方に向けてもメッセージをお願いします。

教職員として、時代によって求められること、環境など、今後も変わっていくことがたくさんあると思います。自身の軸をもちつつ、教職員として働く魅力をより多く見だして次の世代から魅力のある仕事だと思ってもらえるような形で働くことも我々に求められることのひとつだと思います。一緒により魅力のある仕事にしていきましょう。

県内の中学生、高校生の大会は平日に行われることが多いため、大会がある時期は期限が決まっている仕事をできる限り先回りして終わらせるようにしています。義務制の学校は基本的に事務職員が学校に一人しかいないので日頃からの確認と自身のスケジュール管理を徹底するようにしています。

また、土日に試合を担当することもあるため、配偶者や子どもといった家庭への配慮や相談を丁寧にするのを心がけています。

今後、仕事以外で挑戦したいこと、勉強してみたいこと、やってみたいこと、目標などがありましたら教えてください。

仕事、家庭とラグビーの審判を上手に両立していた先輩方がたくさんいらっしゃいます。私もそういった方々と同じように両立し、良い時間を過ごせるようになっていきたいと思っています。